

みんなの心から作った大切な道

喜名小学校 三年 岸本 恵門

「道ってすごいな。」

ぼくは、この前、家族で、「みちぶしんミ

ュージカル」を見に行きました。「みちぶし

ん」とは、みんなで力を合わせて大事な物を
作ることだそうです。ミュージカルでは、六

十二年前の戦争で、おきなわの道がめち

ちゃに、こわされていました。でも、みんな

が元気になるために、~~え~~画館を作り、そこに

行くために、道を作りはじめました。周りに

お店ができてきて、遠くから人もたくさん

集まるようになりました。そうして、「させ

きの一マイル」と言われるようになった国さ

い通りかできました。何もなくな、たや

け野原にみんなで力を合わせて道を作って

くるところが感動しました。道があれば行きた

い所にも行けるし、会いたい人にも会いに行

くこともできます。でも、はじめはでこぼこ

道で、車のタイヤがよくパンクしたそうです。

長い間かかって、今のようなアスファルトの
平らな道ができたんだとはじめて知りました。
ぼくは、今まで道のことを何も考えないでた
だ歩いていた。道は、たくさんの人が苦
労をして作っていると思わなくて、ありがた
うと思いつくことがなかった。

去年の夏に、童話大会に出るために、
はじめてなぎじん村に行きました。なぎじん
小学校の前には、とても高いりうきう松
のなみ木道がありました。さいおんという昔
のえらい人がうえた松の木の道を、なぎじん
の人たちは、何百年も大切に毎日そうじをし
ているそうです。おせわをするのはたいへん
だけど、このなみ木道をいまに思っている
と、なぎじん小学校の校長先生が話してくれ
ました。アスファルトの新しい道ではないけ
れど、さいおんの木をうけついで、何百年も
大切に使っている道なんだな、古くてかこ
いい道だな、と思います。立っているとき
のうきう松の葉の音がした。

しいおばあち。んのぶっだんがある金じよ
 う町のおいさんの家の近くには、石だたみの
 道があります。ぼくは、お正月とおぼんに家
 族で歩くのが好きです。でこぼこしていてゆ
 っくりしか歩けないけど、さかだから遠くの
 けしきがよく見えて気持ちいいです。ゆっく
 りさんぽしてしていると、かん光客の人と目か合
 います。その人が、ここにこしなから
 こんにははい。――
 と言、てくれて、うれしか。たです。昔の人
 もこんなふうになこの道で出会、て、あひさつ
 をして感かよくな。たんだろうなと思います。
 ゆ、くり歩ける道もいいな、と思いました。
 アスファルトのべんりな道も、何百年も夫
 切にさねているさいおん松の道も、出会、た
 人がなかなかなる金じよ。う町の石だたみの
 道も、いろんな人のぬかいや思いかこも、た
 道です。人と人をつなぐ大切な道だと思いま
 す。道、てすごいな。おきなわの人は、新し
 い道も古い道もどちらも大切にしてい、て、えら

いな、と思います。ほくは、これからどんな
道を通っても、作、た人や大切にしている人
の心を養って、ありがとうの気もちで歩きた
いです。